



# 林 声

2025

1 月号



県内の新しい林業の取組を紹介する「新しい林業・おかやま」。  
 今回は、(株)創林社(真庭郡新庄村)が植栽、保育の取組を始めた様子を紹介します。  
 写真は、11月に導入したドローンで、村有林の再造林のため、苗木を運搬しているところです。  
 (詳細はP3に記載)

## 目 次

新年のごあいさつ .....	2	林産物市況 .....	11
新しい林業・おかやま (創林社の取組) .....	3	「おかやま森づくり県民税」	
がんばる林務の現場 (美作市森林政策課) .....	4	情報発信の取組 .....	11
普及指導区の情報 (井笠普及指導区) .....	5	森林・林業施設の紹介 (伊部つながりの森) ..	14
花粉レスの森づくり .....	6		
なるほど！森の図書整備事業 .....	7		
林道施設災害への対応について .....	7		
森林研究所発表会の開催 .....	8		
研究だより(光に対するコンテナ苗の特性と 少花粉モデル林における苗木の成長) .....	9		
技能講習等情報 .....	10		

### 【ほっけ～木になる情報】

Q. 森林分野のJ-クレジット制度ってどんなもの？

(答は13ページ)



新年のごあいさつ

岡山県林業  
改良普及協会 会長

小野 泰弘



新年あけましておめでとござ  
います。

会員の皆様には、輝かしい新春を  
お迎えのこととお慶び申し上げま  
す。また、当会の運営につきまし  
ては、平素から格別のご支援、ご  
協力を賜り、厚くお礼申し上げま  
す。

令和6年5月には、第74回全国  
植樹祭が岡山市で、第52回全国林  
業後継者大会が津山市で開催され  
ました。

とりわけ、全国林業後継者大会  
では、全国の森林・林業関係者が  
一堂に会し、林業の振興と森づく  
りの重要性について意見を交わし、  
林業の魅力を全国に発信するなど、  
林業関係者にとって有意義な大会  
となりました。本大会にご協力的

ただきました会員の皆様に心より  
感謝申し上げます。

さて、近年の森林・林業を巡る  
状況においては、戦後造成された  
人工林が本格的な利用期を迎えた  
中、林業・木材産業を持続的に成  
長させていくため、国では、適切  
な伐採や再造林等による森林資源  
の適正な管理、新技術の活用等に  
よる生産性や安全性の抜本的な向  
上、国産材製品の競争力強化など  
が推進されており、森林・林業・  
木材産業による「グリーン成長」  
を実現していくことで、2050  
年カーボンニュートラルに寄与す  
ることとされています。

こうした中、令和6年度から森  
林経営管理制度の財源となる森林  
環境税の徴収が始まり、森林・林  
業の役割や、その重要性が益々注  
目されているところです。

県内の市町村では、森林経営管  
理制度を推進し、手つかずとなっ  
ている人工林を集積し、間伐など  
の森林整備に取り組みされており、  
森林の公益的機能の維持・増進に  
努められています。

県においても、制度の推進に向  
け、市町村との連携推進会議の開  
催や、市町村職員や林業経営体  
に向けた研修等を実施するなど、総  
合的な支援に取り組まれていると

ころです。

また、森林の整備や林業・木材  
産業の振興等を推進していくため  
の基本方針として「21おかやま森  
林・林業ビジョン」を定めており  
ますが、令和2年の改訂から5年  
を経過することから、現在、重点  
施策に確実な再造林の推進を加え  
るなどの見直し作業が進められて  
いるところです。

こうした、国・県・市町村の施  
策が円滑に実施され、実りのある  
成果をもたらすためには、地域の  
関係者における情報の共有が重要  
となります。当会といたしまして  
も、引き続き、機関誌「林声」の  
発行や林研グループの活動支援を  
行い、会員間での林業情報の共有  
を通して、地域の森林・林業関係  
者のネットワーキングに貢献し  
ていくとともに、森林・林業の大  
切さをより広くPRしていく所存  
です。

最後に、会員の皆様にとりまし  
て、新しい年が希望に満ち、実り  
の多い年となりますようご祈念申  
し上げ、新年のご挨拶といたしま  
す。



本年もお引き立ての程、宜しく願い申し上げます



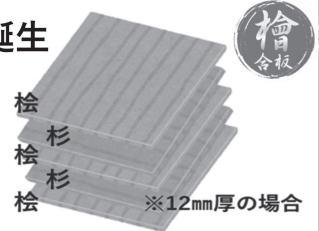
岡山県森林組合連合会

迎春

ヒノキのくに岡山から、100% 岡山県産材の合板が誕生

県産森林認証材 ◇ 12mm厚 910mm×1820mm  
JAS 桧構造用合板 ◇ 24mm厚 910mm×1820mm

※県産森林認証合板を床・壁・屋根に一定量以上使用すると、  
令和6年度おかやまの木で家づくり支援事業の助成を受けることができます。



※12mm厚の場合

お問い合わせ 〒701-1202 岡山市北区檜津 485 岡山県森林組合連合会 木材センター ☎086-284-0299



### 一 はじめに

榎創林社は、平成30年1月に設立した比較的新しい認定事業体です。森林組合や新庄村から委託されたスギ、ヒノキ林の間伐を中心としていましたが、将来的には苗木生産、植栽、保育、伐採までの林業の全ての過程を手掛ける事業体になりたいというビジョンを具体化ははじめているところです。

### 二 植栽、保育の取組

令和5年4月から、植栽、保育事業にも取組み始め、令和5年度中に植栽7,57鉢（再造林、補植）を実施し、保育事業も下刈7,72鉢、雪起こし2,19鉢、実施しました。

現在も、新庄村有林の皆伐地で約5鉢の再造林を実施しているところですが、

植栽地ではウサギによる食害が発生して補植が必要になっており、シカの生息拡大も懸念される中、忌避剤の散布も考えています。薬

剤の種類、場所など慎重に検討しているところです。



再造林実施箇所(村有林)

### 三 苗木生産の取組

令和5年度から、『岡山県少花粉スギコンテナ苗トライアル生産支援事業』に参画して、コンテナ苗の生産に取り組んでいます。

今年度は、農業で一般的に行われているセル移植を行い、順調に活着しました。

通例の原苗は伸長した根をコンテナに上手くおさめることが難しく手間がかかるところですが、セル移植であれば労力、時間の節約が期待されます。

「苗木づくりは米よりも気を遣う。一年中気にかけていなくてはならない。」とのこと、今後、苗畑をより管理しやすい場所に変えることや、播種、移植の時期、

冬季の凍結対策など、試行錯誤しておられます。

目指すところは、新庄村内で使う苗木を賄えるくらいを生産ができるようになることです。



スギコンテナ苗の生産

### 四 ドローンの活用

今年度『林業経営体スマート林業支援事業』を活用して、ドローンを2台導入しました。

1台はDJI AGRAS T50という資材運搬向けの大型モデルで、全国でも導入台数が40機程度だそうです。最大径が2.2mと、かなりの大きさです。

苗木の運搬に活用して、労働負荷の軽減、植栽作業の効率化につながるという考えです。何度も連続して飛行するため、バッテリーを急速充電できる専用発電機も導入しています。

ワイヤーで重量物を吊り下げるため、急な方向転換、一旦停止、再発進の時には荷物がかなり揺れます。起伏のある山林で安全に運行するには、オペレーターと誘導者の連携が欠かせません。

また、このドローンを忌避剤散布に活用することも考えています。



ドローンDJI AGRAS T50

もう1台のドローンは、測量空撮向けのDJI Mavic3です。より正確な位置情報を把握するために、RTK移動型基地局も導入しました。簡単に概略測量ができ、必要な資材数量の把握などに活用できます。成果測量としても利用できる将来を展望しています。

苗木生産、植栽、保育事業いずれも、規模を拡大しようとすれば労務の確保が課題です。ドローンの活用が一助となることを期待しています。

(真庭普及指導区 小川 章子)



一 はじめに

美作市は岡山県北東部に位置し、北は鳥取県、東は兵庫県に接しています。県で最も標高の高い後山を中心に中国山地が広がり、その中央を吉井川の源流である吉野川と梶並川が流れています。

市の森林面積は約33千畝、森林率は約8割で、人工林率は約5割、うちスギ・ヒノキの割合が9割以上を占めており、その多くが主伐期を迎えています。

間伐や皆伐・再造林などの森林整備が必要となっている一方で、林業の担い手不足や生産コストの高騰、木材価格の長期低迷、シカによる食害など、多くの課題を抱えています。

二 森林政策課業務の概要

主な業務内容は、市町村森林整備計画や森林経営管理制度の推進、森林環境譲与税の活用、市有林の管理、鳥獣害対策や獣肉処理施設の利用など、職員5名により運

営されています。このほか、地域林政アドバイザー1名が配置され、森林資源調査やGISを活用した施業履歴の整理、森林経営管理制度における意向調査の実施、市有林管理などを担い、市の森林・林業行政を支えています。

三 森林整備促進条例の制定

森林整備に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的とした条例が10月に制定されました。主な内容は、市、森林所有者、森林組合、事業者等それぞれの責務や役割を明らかにするとともに、相互の連携及び協働により森林整備を促進するというものです。また、市は所有者自らが管理できない森林の寄付を受けて経営管理を行うことで、放置林や所有者不明森林の解消を図ることにしています。

四 森林経営管理制度の取組

市は人工林と天然林を対象に意向調査を進めており、令和元年度から5年度までに対象面積の約7割に当たる約23千畝の調査を行いました。回答率は約5割、このうち約6割が市に管理委託や寄付を希望する回答でした。

集積計画も約250畝が策定済で、県下トップクラスの進捗状況となっています。意向調査の未済森林は、宛先不明や未相続地など対応困難な所有者分ですが、特定できた森林から順次調査を進める予定です。

五 森林環境譲与税の活用

意向調査経費への充当のほか、内装材等に美作市産材を活用した新庁舎の建設、間伐等の森林整備及び住宅助成など、おかやま森づくり県民税事業と連携した取り組みも行われています。



新庁舎建設状況[議会棟天井部]  
(構造材はH鋼と美作市産材の組み合わせ)

また、深刻な被害を受けているシカの食害対策として、市有林の人工造林地に防護柵や数種類の食害保護資材等を試験的に設置し、

有効性や植栽木の生育変化、設置の作業効率、維持管理コストなどについて実証を行い、今後の再造林に活かすこととしています。



試験的に設置したシカ食害保護資材

六 おわりに

美作市は、県内でもシカの生息数が多い地域であり、シカ食害による農林業被害が長年の課題となっています。このことは再造林推進の妨げとなり、林業の成長産業化を実現するうえで支障をきたすことが憂慮されます。

勝英普及指導区では、猟友会と連携した対策を模索するなど、地域ごとの課題解決に向けた支援を行っています。行ってまいりたいと考えています。  
(勝英普及指導区 今西 史香)

普及指導区の情報

**木育活動について**

【井笠普及指導区】

一 はじめに

井笠普及指導区は、岡山県の南部に位置し、人工林率12%と、県下平均の約38%を大きく下回っており、森林・林業に対する関心が比較的低い地域といえます。このため、井笠普及指導区では、林業の重要性や木材利用の意義について理解を深めてもらうため、木のおもちゃにふれる体験活動やかやま共生の森での森林整備活動を行っていますので紹介します。

二 「ワクワクドキドキ科学で遊ぼう！」について

「ワクワクドキドキ科学で遊ぼう！」のイベントは、子供たちの科学への興味を育て、身の回りにある科学的なものへ好奇心を向けるきっかけになればと、NPO法人ハーモニーネット未来が毎年開催しているもので、2000年から始まったイベントは令和6年で22回目となりました。井笠普及指導区ではこのイベントに賛同し、

2018年(第19回)から「木育く木にふれて、さわって、あそぼう！」のブースを担当し、来場した多くの方に、木のおもちゃにふれる体験等を提供しています。



積み木で一緒に遊ぶ親子



木の玉プールで遊ぶ子供たち

今回は、11月4日(月・振替休日)に浅口市ふるさとかもがたプラザビッグハットで開催され、木育ブースに設置した木の玉プール

やヒノキの積み木コーナーでは、小さな幼児をはじめ、その保護者も夢中になって遊ぶ姿が見られました。また、県産材ヒノキの箸づくりコーナーでは、初めて使うカンナに苦戦しながらも、カンナ屑から放たれるヒノキの香りを楽しみながら、それぞれが素敵なマイ箸を完成させていました。



県産材ヒノキの箸づくり

三 「おかやま共生の森・井原保育のつどい」について

県民に気軽に間伐などの森林作業体験に参加してもらうために県が設置した「おかやま共生の森・井原」を活動場所として、森林作業の体験を井原市森林組合に委託して開催しています。

11月16日(土)に開催された保育のつどいでは、広葉樹林の整備

を行いました。参加者は植栽木の枝打ちや灌木の除伐作業等を行い、すがすがしい汗を流していました。



共生の森での広葉樹林の整備活動

四 最後に

木のおもちゃによる楽しい遊びの体験や森の中の活動は、五感を刺激し、好奇心や想像力を豊かにし、身の回りの自然に興味をもち、人と、森や木との関わりを深めることにつながります。

これからも、子供たちをはじめ多くの方に「森林」に関心をもつていただくため、林業普及指導員として、木にふれて、遊び、学ぶ体験を提供していきたいと思えます。

(井笠普及指導区 山下 雅子)

# 花粉レスの森づくり 岡山県の花粉発生源対策

## ● 花粉症対策の全体像

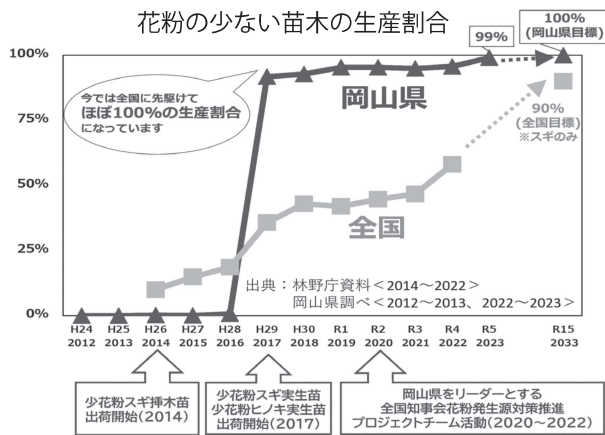
スギ・ヒノキ花粉による花粉症は、その患者数が国民の約4割と推計されるなど社会的に大きな問題となっています。

国では令和5年5月に開催された関係閣僚会議において、「花粉発生源対策」、「飛散対策」、「発症・曝露対策」を3本柱とする「花粉症対策の全体像」が取りまとめられ、「花粉発生源対策」としては、スギ人工林面積を令和15年度に約2割減少させること等に取り組むとされています。

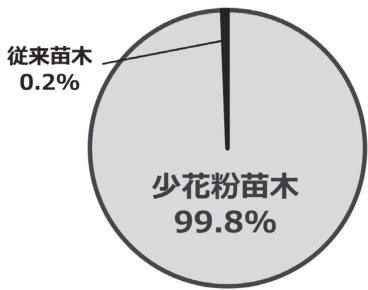
## ● 岡山県の花粉発生源対策

岡山県では、平成19年度に「岡山県少花粉スギ・ヒノキ普及推進プラン」を策定後、平成24年に就任した現知事のもと花粉発生源対策を推進してきました。現在は、県政の最上位計画である「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」において、少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替割合を令和6年度までに100%とする目標を掲げ、取組を進めています。

その結果として、全苗木に占める少花粉スギ・ヒノキの生産割合は平成29年度以降、90%以上で推移しており、令和5年度は生産割合・植替割合ともに99%以上となっています。



花粉の少ない苗木による植替割合 (岡山県R5(2023))



## ● 花粉レスの森づくり事業

花粉発生源対策をさらに推進するために、林業サイクルの循環が重要ですが、造林コストが嵩むなど費用負担が大きいことから、再造林が進んでいない状況にあります。このため、今後は、再造林の低コスト化と花粉発生源対策に資する少花粉コンテナ苗木の安定供給及び活用が求められています。

このような背景から、令和6年度に「コンテナ苗で広げる花粉レスの森づくり事業」の取組を開始しました。当事業の概要は次のとおりです。

- ① 少花粉種子の増産対策  
採種園（森林研究所内）の整備・改良、採種機材設備の拡充等により種子の増産・生産効率化を行っています。
- ② 少花粉コンテナ苗の生産効率化  
少花粉コンテナ苗の生産に必要な資機材の導入支援、技術支援、低コスト生産の実証等を行っています。
- ③ 少花粉コンテナ苗の植替促進

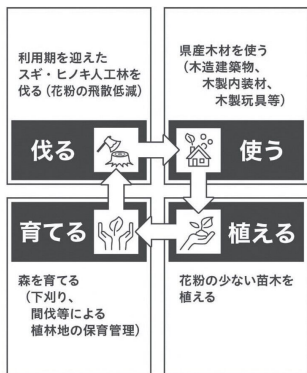
少花粉コンテナ苗による再造林（作業道作設含む）及び下刈りへの支援を行っています。

## ④ 花粉発生源対策の普及啓発

県境を越えて飛散する花粉に対して広域的な対策を行うべく、中国5県で連絡会議を開催し、連携して植替えを進めています。

また、花粉発生源対策を普及啓発するためのグッズを作成し、配布しています（リーフレット、メモ帳、エコバッグ等）。

その他、県のホームページでも花粉発生源対策をPRしておりますので、ぜひご覧ください。



木材を使うことが花粉の少ない森づくりにつながります



岡山県治山課HP (花粉発生源対策)



県政PR動画 (花粉発生源対策)

(治山課 造林班)

# なるほど！ 森の図書整備事業

岡山県立図書館ではおかやま森づくり県民税を活用し、森林と関係が深いテーマの図書の購入を行っています。

おかやま森づくり県民税は、県民共有の財産である「おかやまの森林」をより良い姿で次の世代に引き継いでいくため、県民の皆様

に薄く広く負担をお願いし、それを財源とした森林保全事業を実施することにより、県民一体となつて森林の維持保全に取り組み

ることを目指す目的で設けられています。当館では、森林に関わる図書を広く整備し、貸出を行うとともに、館内での展示や、学校図書館へ一定期間貸出を行っています。こう

して、大人から子どもまで、多くの方に、森づくり県民税や森林行政への理解を深め、森林や植物への興味関心を高めるよう取り組んでいます。当館には160万冊以上の蔵書があり、来館する度に新たな本との出会いが楽しめる環境となっています。お探しの資料・情報が見つからない場合は、情報探索のプ



館内での展示の様子

(教育庁 生涯学習課)

# 林道施設災害への 対応について

近年、激甚化・頻発化する豪雨災害が各地で深刻な被害をもたらしており、林道施設においても被災した林道を早期に復旧することや、被災しにくい林道を整備することの重要性が年々増しています。

## 一 林道災害の復旧状況

令和5年8月中旬に本県に接近した台風第7号の影響により、鏡野町上齋原では観測史上一位となる530.5ミリの日降水量が記録されるなど、県北部を中心に非常に激しい雨が降り、令和5年は主にこの豪雨により、県内の林道12路線19箇所ですべて1億9千万円もの大きな被害を受けました。

被災した林道については、現在市町村が国の補助を受けて計画的に復旧を進めているところであり、令和6年12月末時点では、全体の79%に当たる15箇所が完了しています。

## 二 既設林道の強靱化

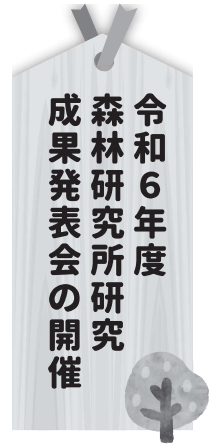
県では、こうした災害に備えるため、既設林道の法面保護や舗装、排水施設の見直しをはじめ、拡幅

や勾配の緩和など、きめ細やかな事業メニューの活用による強靱な林道への改良を促進しています。間伐等の森林整備に林道を活用されている皆様におかれましても、改良の必要性を感じる路線情報がありましたら、市町村担当課にお知らせください。



林道落合線(津山市)の復旧状況【左:復旧後、右:被災時】

(治山課 整備班)



岡山県農林水産総合センター森林研究所では、これまで取り組んできた研究の成果を森林・林業・木材産業の関係者をはじめ、多くの県民の皆様方に分かりやすく紹介し、理解と関心を深めてもらうため、次のとおり研究成果発表会を開催します。

**一 開催日時**

令和7年2月6日(木)  
13時から16時まで

**二 場所**

津山市久米公民館ホール  
(津山市中北下1271)

**三 内容**

◇研究成果発表

①ドローンによる森林調査

—単木情報の解析—

(牧本卓史専門研究員)

②ヒノキ本来の香りを残す乾燥

技術の開発

(松田洋樹研究員)

③岡山県におけるマツタケ研究

のこれまでと今後

(藤原直哉特別研究員)

◇講演

ヒノキ人工林における森林管理に関する研究について  
(西山嘉寛特別企画専門員)

◇ポスター発表・普及資料の展示  
試験研究課題の内容について、パネルの説明・普及資料の展示を行います。

**四 参加申し込み**

参加を希望される方は、令和7年1月30日(木)までに、左のQRコードによる申込みを行うか、森林研究所まで、電話、FAX、メールにてご連絡願います。(詳細は森林研究所ホームページ参照)  
なお、申込みの際には氏名・電話番号をお知らせください。

【申込先】

岡山県農林水産総合センター森林研究所(勝田郡勝央町植月中)  
TEL 0868-3813153  
FAX 0868-3813152  
メール ringyo@pref.okayama.lg.jp

ホームページ

[https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=42679](https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=42679)



**令和6年度研究成果発表会 発表および講演の題名と要旨**

**発表:「ドローンによる森林調査—単木情報の解析—」**

(林業研究室 専門研究員 牧本卓史)

昨年までに、ドローン空撮画像による樹高及び立木密度の解析と、それに基づく林分材積の推定手法について取りまとめましたが、これに加えて、単木の胸高直径を簡易に推定し、人工林の資源情報を単木レベルで把握する方法について検討したので報告します。

**発表:「ヒノキ本来の香りを残す乾燥技術の開発」**

(木材加工研究室 研究員 松田洋樹)

ヒノキの香りの良さは材の付加価値となりうる大事な要素の一つです。しかし、乾燥方法によっては、せっかくの香りも損失・変質してしまいます。そこで、今回、乾燥と香りの関係を明らかにし、本来の香りを残す乾燥技術の開発に取り組みましたので、その概要を報告します。

**発表:「岡山県におけるマツタケ研究のこれまでと今後」**

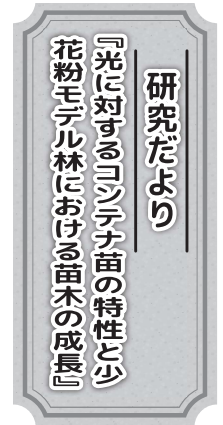
(林業研究室 特別研究員 藤原直哉)

環境整備施業から始まった本県のマツタケの研究は、その後、菌糸培養、感染苗、遺伝子解析と様々な変遷を辿ってきました。本発表では、これまでの研究を踏まえ、近年の成果、特に、アカマツデンブン培地の開発と、今後へ繋がる知見について報告します。

**講演:「ヒノキ人工林における森林管理に関する研究について」**

(特別企画専門員 兼 林業研究室長 西山嘉寛)

これまで取り組んできたヒノキ人工林における、林分収穫予想表の作成、間伐手遅れ林分調査、伐採搬出調査、列状間伐調査等の試験研究について、その概要と研究成果をそれぞれ紹介し、今後の育林育種分野の研究について展望します。



一 少花粉採種園の由来

当所に造成された採種園は、昭和30年代から繰り返し選抜・改良されてきた精英樹（成長や強度に優れた品種）で構成されていましたが、近年、国が定める選抜基準を満たした少花粉品種のみを残して再構成し、いち早く種子の生産を開始しました。現在、この採種園から供給された少花粉種子を原資として、平成29年度から、少花粉スギ・ヒノキの苗木が県下に出荷されています。そこで、所の研究課題では、品質の高いコンテナ苗の育成条件について、どんな因子が影響するのか、調べてみました。

二 光に対するコンテナ苗の特性

当研究所では、これまで少花粉スギ・ヒノキコンテナ苗の育苗について、研究に取り組んできましたが、その成果のうち、光に対するコンテナ苗の特性について、以下に解説したいと思います。4月、コンテナに種子を播種し、①遮光

無し、②20%遮光、③50%遮光、の3区分に分け、その年の10月まで苗木の育成を実施しました。その結果、少花粉スギでは、50%遮光の時に、苗高、根元直径ともに、やや成長が抑制されました。また、少花粉ヒノキでは、苗高への影響は見られませんでした。50%遮光の下では、根元直径の成長が抑制された結果、形状比（苗高と根元直径の比率）の高い細長い苗木に育つことが確認されました（図1）。

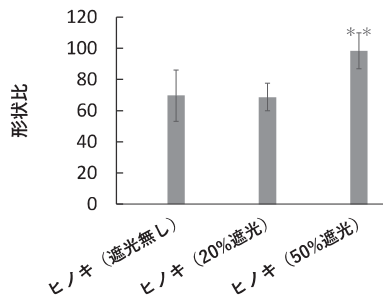


図1 少花粉ヒノキの形状比  
注：\*\* 1%水準で有意差あり (t検定)

これらのことから、なるべく光を当てて育てることが、良いコンテナ苗の育成条件であることが判りました。

三 少花粉モデル林の生育状況

岡山県では、平成22年度から市町村と協力し、少花粉苗木を植栽

した少花粉モデル林を、県下15か所に設置しています。

当研究所では、新たに追加されたモデル林（表1）の苗木についても、その成長を調査しています。一部の地域では初期成長の傾向が少し見えてきました。

表1 少花粉スギ・ヒノキモデル林の概要(追加)

場所	植栽年度	植栽本数(本)	備考
高梁市有漢町	令和3年度	600	市有林
吉備中央町上田西	〃	300	町有林
新庄村大原	令和4年度	510	村有林
新見市哲西町矢田	令和5年度	600	市有林

調査地の中で最も早く植栽された高梁市では、植栽後2年経過後の3年目から、樹高と根元直径の成長が顕著になりました（図2）。コンテナ苗の活着も良好で、堅調な生育が確認されています。

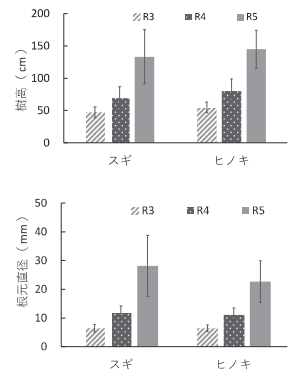


図2 植栽後の成長 (高梁市)

テナ苗の育苗に、光の量が影響することから、林地に植栽された後にも、地形による苗木への光の照射が、その後の成長を左右することが推測されます。他のモデル林についても調査を行っていますので、これらと比較することで、林地における少花粉コンテナ苗木の特性が判る可能性があります。

四 おわりに

コンテナ苗の育苗については、未だに模索が続いており、今後の再造林へ向けて、効率化や生産規模の拡大を図ろうとしています。このため、研究所としても、切れ目ない支援を続けてまいります。

(林業研究室  
特別研究員 藤原 直哉)

## 技能講習会の開催（2月～3月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会 場	日 程	申 込・問 合 せ 先
伐木（特別教育）	岡山	2月5～7日（受付終了）	林業・木材製造業 労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)236-7077
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木特別教育」又は「刈払機安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができます。			林災防岡山県支部 HP 
小型移動式クレーン運転	岡山	3月13～14日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL(086)225-3571
	新見	3月13～14日（サテライト）	
玉掛け	岡山	2月6～7日、3月6～7日	
	津山	2月20～21日、3月11～12日	
	笠岡	2月17～18日	
	玉野	2月20～21日（サテライト）	
フォークリフト運転	岡山	2月12日、3月5日	
	玉野	3月4日（サテライト）	
	笠岡	2月19日	
	津山	2月5日、3月4日	
不整地運搬車	赤磐	2月3～4日、3月14～15日	(株)P C T岡山教習所 TEL(086)956-2170
はい作業主任者	岡山	2月22～23日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)234-1332

## 「もしも」に備えて・・・森林保険があります！



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
 保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千9百万円の保険料が支払われました。

## ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹 種…ヒノキ 契約時林齢…1年  
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円  
 一括払いだと 25,324円（5年間計）

樹 種…ヒノキ 契約時林齢…26年  
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円  
 一括払いだと 42,129円（5年間計）

1ヶ月あたり  
約420円

おむすび  
3個分

1ヶ月あたり  
約700円

ラーメン  
1杯分

- 保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
- 条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



森林保険公式キャラクター そよりん たもちい

# 林 産 物 市 況

●木材 (12月11日)

・出荷量 約1,700m<sup>3</sup>

単位：千円/m<sup>3</sup>



●製材 (12月)

価格：円/m<sup>3</sup>



樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況
杉	3 m	14~16	11	~	杉概況 【3m】 柱材 横這い 中目材 横這い
		18~20	11	~	
		22~28	11	~	
	4 m	18~22	10	—	中目材 横這い 元木 横這い
		24~28	10.5	9.5	
		6 m	16~18	—	
檜	3 m	14~16	22	18.5	檜概況 【3m】 柱材 横這い 中目材 横這い 元木 横這い
		18~20	19	18.5	
		22上	21.5	20.5	
	4 m	16~18	21	21	柱材 横這い 中目材 横這い 元木 横這い
		20~22	20	20	
		24~28	21	20	
	6 m	16	—	—	
		18~20	—	—	

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値	備考
スギ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	~ 75,000	
	正角 3m 12cm角	特等	K	~ 70,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	75,000 ~ 80,000	
	正角 3m 12cm角	特等	K	70,000 ~ 75,000	
	正角 4m 10.5cm角	特等	K	75,000 ~ 80,000	
	正角 4m 12cm角	特等	K	70,000 ~ 75,000	
マツ	平角 4m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	~95,000	
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm角	特等	G	76,000 ~	
	平角 3m, 4m 10.5×15~21cm	特等	K	95,000~	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	K	120,000 ~	
ホワイトウッド	間柱 3m 3cm×10.5cm	特等	K	85,000 ~	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。  
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

今年度は、全国植樹祭、フェア  
ジアーノ岡山試合前イベント、お



全国植樹祭での出展の様子

県民が参加するイベント等へ出  
展し、パネル展示やリーフレット  
等の配布、ヒノキのお箸づくり体  
験、おかやま森づくり県民税に関  
するアンケート等を行っています。

【イベント等への出展】

県では、森林の働きや林業の役  
割、おかやま森づくり県民税につ  
いて、広く県民に知っていただ  
くため、おかやま森づくり県民税を  
活用して、情報発信に取り組んで  
います。



情報発信の  
取組



岡山県森林組合連合会のラッピングカー

(林政課 普及指導班)

森を知る情報発信事業では、岡  
山県森林組合連合会がラッピング  
カーを制作し、通常業務で利用す  
るほか、イベント等にも出向き、  
岡山の森林を身近に感じてもらう  
とともに、守り育てることの大切  
さをアピールしています。

【補助事業】  
森を見つめる交流促進事業を活  
用し、津山市や林業・木材産業関  
係団体等が連携して「森林を考え  
る岡山県民のつどい」を開催して  
おり、講演会や木工教室等を通じ  
て、都市住民に森林・林業に関す  
る情報発信を行っています。

かやま木材フェスティバルのほか、  
計8件のイベント等で情報発信を  
行いました。(令和6年12月現在)



林業機械のご購入・修理・買い替えのご相談は

## 美津吉商事株式会社

岡山県津山市一方194 / TEL 0868-23-2255  
 ≪津山・真庭・倉敷・鳥取・倉吉≫  
<https://www.mitsuyoshi.com>

---

イワフジ工業      ハスクバーナ・ゼノア  
 やまびこジャパン (新ダイワ・共立)  
 STIHL      マキタ      PFANNER      他

確かな技術と  
製品で  
作業の安全性を  
サポートします！

お近くのお店へ  
お気軽に  
ご相談ください。





## 「緑の募金」

ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs (持続可能な開発目標)

**募金期間**

春のみどりの月間  
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間  
10月1日～10月31日

口座振込は  
こちらへ

ゆうちょ銀行      00230-3-144752  
※窓口では手数料がすべて免除となります

中国銀行岡山駅前支店      普通1852041  
 トマト銀行岡山駅前支店      普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会  
 岡山市北区錦町1-8      TEL・FAX (086) 221-9511



## 中古林業機械



# 売ります！買います！

**HITACHI Logisnext**

日立建設機械  
油圧ショベル

**STIHL**

三菱ロジスネクスト  
フォークリフト

各種林業アタッチメント

**KEEPA NANSEI**  
**IWAFUJI MOROOKA**

**各種機械のレンタル・修理も承ります！**

## 富士岡山運搬機株式会社



本社	岡山県津山市津山口111-1	TEL : 0868-24-3211
新見	岡山県新見市石蟹267-9	TEL : 0867-76-9077
岡山	岡山県岡山市中区江崎84-1	TEL : 086-277-5100
鳥取	鳥取県鳥取市南栄町33-15	TEL : 0857-50-1985

ほっけー木になる情報

Q. 森林分野のJークレジット制度ってどんなもの？

A. 森林分野のJークレジット制度は、森林経営などの取組による、CO<sub>2</sub>の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

クレジットを企業等へ売却することで森林整備へ活用でき、購入者はカーボンオフセットや地球温暖化対策のPRができます。

森林分野のJークレジット制度は3つの方法論があり、このうち「森林経営活動」は、間伐等の適切な活動を通じて、森林に蓄積される炭素量の増加や木材利用に係る炭素固定による吸収量を算定します。

算定対象となる森林は、認証対象期間（8～16年）及びその後の10年間を通して森林経営計画の作成を継続する必要があります。

クレジットの売買については、仲介業者を介した相対取引等で行われていますが、令和5年10月に東京証券取引所でカーボンクレジット市場が開設されました。

市場開設から令和6年11月末までの森林分野のクレジットの売買単価

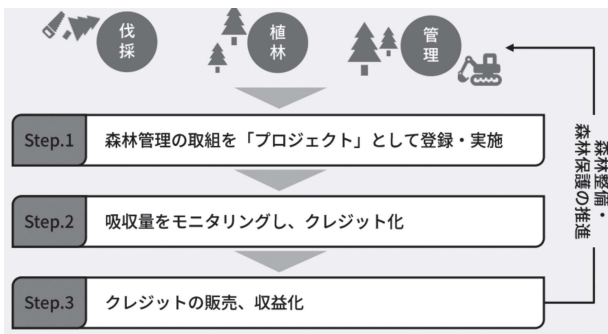
は5,000円～9,900円であり、他分野に比べて高い水準ですが、取引量は少ない状況です。

また、国では令和8年度に排出量取引制度を本格導入し、大企業に参加を義務付けることとしています。

このような中、県では今年度から森林分野のクレジットの登録・認証等に要する経費を支援する事業を開始しました。

クレジットの活用によって、森林整備につながることを期待しています。

森林分野Jークレジット活用のイメージ



（林政課 森林企画班）

出展：林野庁HP

森林吸収系Jークレジットリーフレットより抜粋

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。また、新規会員も継続して募集しております。

【会員の特典】

- ① 県内情報誌「林声」年間6冊
- ② 全国情報誌「林業新知識」12冊
- ③ 全国林業改良普及協会発行の専門誌が割引価格で購入可能
- ④ 関係イベントの案内

※年会費 2,500 円です。

【問い合わせ・送付先】

〒701-1202  
岡山市北区橋津491-1  
（岡山県森林組合連合会内）  
☎086-2336-6530

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

【林地除草剤】ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

【野生獣類忌避剤】ランテクター水和剤・コニファー水和剤

【幼齢樹保護カバー】くわんたいⅡ

【樹皮食い防止】バークガード・美樹巻夫

【樹幹注入剤】マッケンジー・マツガード・他 【野生草食獣侵入防止】防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288

林声

令和七年一月一日(第四九九号)  
(隔月一日発行)

森林・林業施設の紹介

「伊部つながりの森」

備前市伊部にある「伊部つながりの森」をご紹介します。

この森は、伊部地区と片上地区の二つの地区からなる山であり、二つの地区の「文化と心」をつなげ、地域を盛り上げる場所になっています。当地区で行われている活動は、自然の中で遊ぶことが少ない子ども達に「学習の場」を提供すること、備前焼の燃料になるアカマツ林を育てることを目的に展開しています。

ここで毎年行っているイベントの一部を紹介します。

1月に地元の小中学生によるアカマツの植栽を行っています。2014年から植栽を始めており、植栽したアカマツも大きく成長し、除伐が必要な場所も生じています。今後のイベントでは、植栽から除伐整備への移行を計画しているそうです。

また、7月には、小学生以下を対象に親子で自然にふれあえるイベントを開催しています。令和6年は、鉛筆作り、薪割り体験、木登り体験など森林ならではの体験

が出来ました。また、近くの池でカヌーや魚釣り、ポニーやヤギとの動物のふれあい体験もあり、107名の方が参加されました。イベントに参加されたい方は、ぜひ、片上・伊部つながりの森実行委員会へご連絡してみてください。

【連絡先】

inbejichikai@alto.ocn.ne.jp



鉛筆作り体験



植栽後のアカマツ

(東備普及指導区 竹内 智也)

編集 発行

〒701-1202 岡山県森林組合連合会内 岡山市北区榎津四九一―一 岡山県林業改良普及協会

おかやまの木で家づくり支援事業

助成金額：最大32万円/戸

助成対象者：

- ① 県内で認証材を4㎡以上使用して新築する住宅(350戸程)
- ② " " " " 民間非住宅(50件程)
- ③ " " 1㎡以上使用して改修する住宅(100戸程)

詳細はこちら ↓

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>



一般社団法人 岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 (岡山県木材会館内)  
TEL (086) 231-6677 FAX (086) 232-7549

緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号  
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142  
<http://www.yamatoya-net.com>  
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

防腐技術と加工技術で、人と森と未来を繋ぐ

公園修景施設・土木用資材  
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号  
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社  
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104  
TEL 岡山(086)805-7033(代)



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。